



先生方対象の郷土学習会7月29日

夏休み中でも先生方は研究会や学習会などに参加しています。

7月29日（木）に「町内の施設の学習と共に、自然環境について理解を深める」ことを目的に郷土学習会（隣地研修）を実施しました。対象者は新転入・新採用教職員です。

見学場所は、「西湖フィールドセンター」「河口浅間神社」「西湖コウモリ穴・西湖ネイチャーセンター」「富士御室浅間神社」「西湖いやしの里」と盛りだくさんの内容でしたが、どの場所でも専門的知識をもった講師の方が説明をしてくださったので大変中身の濃い学習会となりました。ここで学んだことを、今後の指導に大いに役立ててほしいと思います。



西湖ネイチャーセンター前で記念撮影



コウモリ穴を探検



熱心にメモをとる先生方



防災について学んだ西湖いやしの里

熱心に説明してくださった講師の皆様



生涯学習課
杉本悠樹さん



フィールドセンター
荒井正春先生・古屋一恵さん



町議会議員
外川満さん



富士御室浅間神社

49名が参加予定だった Jr. (ジュニア) 防災士講座

今回はコロナ感染拡大により中止となりました

当日配付予定だった資料や非常食を参加予定者一人一人に届けました。



49名一人一人に届けた配付物

ジュニア防災士講座は、富士河口湖町としては初めての試みです。定員20名のところに49名の申し込みがありました。富士河口湖町は、雄大な富士山の麓にある自然豊かな素敵な町ですが、富士山噴火、南海トラフ地震、大型台風など自然災害が大変心配になっている場所でもあります。この講座は、『「小学生の段階から、地震や台風の時、どんな危険があるかを知って、自分の命を守る方法を学んで、防災力を身につける」「地域の防災を担う人材を育成する」』ことを目的に企画されたものです。

当日は、防災の基礎について学んだり、防災マップを作成しながら自分の住む地域の危険箇所についてまとめたり、昼食はα化米など簡単に作れる非常食をいただきながら、備蓄食料の重要性について学んだりする予定でしたが、今回は、コロナ感染拡大により中止とさせていただきます。当日配付予定だった資料や非常食を参加予定者一人一人に届けました。



今回は中止となってしまいましたが、配付された資料をもとにして夏休みの自由研究などで防災について多くの子が学ぶことができたことと思います。

参加予定者への配付物の袋詰め作業に多くの皆さんが協力してくださいました。

情報教育研修会 8月3日 ICTの有効的な活用

～未来を生き抜く子どもたちのために～



野中潤先生

これからの時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術の活用は必須です。ICT教育で次世代の人材を育てることが求められています。国のGIGAスクール構想により、富士河口湖町でも今年度から導入された一人一台タブレット。有効的に活用していくためには、どのようにしていったらよいのか、どこの学校でも模索中です。

今回の情報教育研修会では、都留文科大学文学部国文学科学科長教授としてご活躍されている野中潤先生に講師を務めていただきました。先生は、ICTをどう国語教育や文学研究にいかしていくかをテーマに研究を続けられています。

参加者から「ICTは単なる手段ではない。という言葉に共感しました。これからの時代、ICTをいかに使いこなせるかが必要だと思います。これからの時代を生き抜く力を育成するのが教師の使命です。そのためにも、私自身が、ICTの効果的な活用ができるよう努めていかなければと強く感じました。」といった感想が多く聞かれ、有意義な研修会となりました。

